



家庭でできる「きたコン」4つのサポート

「今日は『きたコン』でどんなことしたの?」

そのひと声が、子どもの学びを大きく伸ばします!

GIGA スクール構想が始まって5年が経ち、子どもたちの学びの中で「きたコン」はすっかり身近な道具になりました。教室では調べ学習や意見交換、作品づくりなど、さまざまな場面で活用されています。家庭でも宿題に使ったり、学校の振り返りを入力したりと、学びの一部として自然に取り入れられるようになってきました。

そこで今回は、ご家庭でできるサポートを4つご紹介します。

①「話を聞いてあげる」ことが、一番のサポート

「きたコン」を使った学習には、子どもなりの工夫や発見がたくさんあります。「今日は何を調べたの?」「AIにはどんなことを聞いてみたの?」といった声かけだけでも、子どもの学びを振り返らせ、自信を育てます。「見守られている」という安心感が、家庭での健全な「きたコン」利用にもつながります。

②「時間」と「姿勢」を整えると、学びが安定する

・時間のルールをいっしょに決める

「きたコン」は便利な道具ですが、長時間の使用は生活リズムを乱すことがあります。使っていい時間など、家庭ごとのルールを親子で話し合うと、子どもも意識して自己管理できるようになります。

・姿勢と環境を整える

画面に顔が近づく、寝転んで使うなどは疲れやすさにつながります。いすにいい姿勢で座り、明るさを保ち、画面との距離をとるだけで集中しやすくなります。健康面を意識した声かけが、家庭でできる大切な支援になります。

③「創る楽しさ」を親子で共有する

「きたコン」には、「自分の考えを形にできる楽しさ」があります。学校でもスライドづくりや動画記録、AIとの対話で表現を深めるなど、創造的な活動が広がっています。ご家庭でも、次のような関わりをもってみることをお勧めします。

- ・子どもがつくった作品を見せてもらう
- ・画像生成AIで絵をいっしょにつくってみる
- ・調べた内容を家族に説明してもらう

保護者からの、「すごいね」「がんばったね」という一言が、子どもの大きな励みになることでしょう。



④ネットとの付き合い方をいっしょに考える

ご家庭でも、SNSや動画アプリの利用について話したり、困ったときに親に相談しやすい雰囲気をつくるのが大切です。

「AIの答え＝正解」ではなく、あくまでもヒントであることなども、

「北区GIGAスクール通信 みらい」は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、学び未来課が毎月発行いたします。

きたちゃんコンちゃん

by Toshi



※家庭での「きたコン」を使ったりリモートミーティングは、教師の指導と監督が必要です。

親子で話しておくくと安心して活用できます。

学校と家庭が同じ方向を向いて子どもを支えることで、「きたコン」は「未来へ続く学びの味方」になります。

これからも一緒に子どもたちを温かく見守っていきましょう!

